

向上心

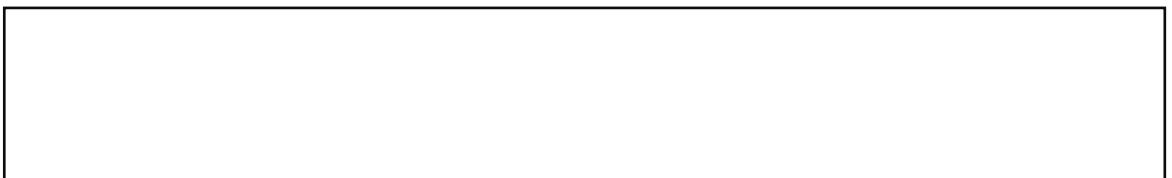
「何が足りなかつたんだろうなって。何が今まで間違つてたんだろうなって。すいません。」泣き崩れながらにこう語つたのは、何か大きな間違いを犯した人ではなく、人に何か迷惑をかけた人でもなく、日の丸を背負つて立派に世界と闘つた、あるハーダル選手でした。

2025年夏、東京で開催された世界陸上。世界新記録が誕生したり、日本人選手が躍動したりと、とても熱狂した大会になりました。その中でも私が最も印象に残つているのは、ハーダルの村竹選手の試合後インタビューです。世界110mハーダル決勝という大舞台。そこで5位という日本歴代タイ記録を達成したので、私はてっきり歓喜あふれるインタビューになるのだと思っていました。しかし、そこで村竹選手が語つたのは、応援してくれた人への感謝と、冒頭にある涙ながらの謝罪でした。インタビューを見ながら私は「世界5位で悔しがるって。私と同じ年齢なのにすごい！」と感銘を受けたとともに、そこまで悔しがれるほどに全身全霊で世界に挑んだ村竹選手の『何が何でもメダルを獲りたい』というその『向上心』にとても勇気づけられました。

みんなのまわりにも、頑張っている人がたくさんいると思います。勉強や部活、クラブチームにクラスのリーダーたちなど、色々な仲間がいて、その中にはあなたの内で勝手に目標にしていたり、互いに高め合うような関係になつたりするのではないか。例えば、一緒に勉強や練習をしたり、勉強時間を競い合つたりする関係の中で、「**あの子が頑張っているから私も頑張れている**」と思える人のことです。このように、実は気づかないうちに、あなたの、もしくは人の『向上心』が誰かを勇気づけたり、反対に勇気づけられたりすることがあります。そして、そんな関係を築ける仲間がいることは、とても心強く、素敵なことだと思いませんか。

一方で、「向上心のある人」の反対って、どんな人だと思いますか？少し考えてみてください・・・。「向上心のない人」でしょうか…？前述のように、『向上心』は、人に勇気、エネルギーを与えることがあります。このことをもとに考えると、向上心のある人の反対は「人の足を引っ張る人」だと思います。例えば「今回の単元別捨てるわ。」や「テストまでまだ何日があるし…。」といったことを言つたり、言われたりしたことはありませんか？そして、その発言で少し安心したり、同じように勉強しなかった経験はありませんか？意図的に「人の足を引っ張る」人は滅多にいませんが、向上心と同様に、気づかぬうちに、そうしてしまつてあります。そして、そのような関係にある仲間は、その瞬間は安心できても、結果的にプラスにならないように思えます。しかし、そこで「一緒に勉強しよう」などといった、何か『向上心』の助けになるような言葉がけができるたら、互いにとってプラスとなる素晴らしい関係になれると思います。

あなた自身や友人を振り返つてみて、これからどのような関係を築いていきたいですか。目標になるような、『向上心』あふれる人はまわりにいますか。あなた自身は、人に勇気を与えられるような『向上心』をもつて、努力できていますか。『向上心』はあなた自身にはもちろん、まわりにも良い影響を与えます。学校、学年、クラス、クラブなど、色々な集団の中でたくさんの『向上心』があふれる、そんな仲間を築いていってほしいなと思います。『向上心』で互いに高め合う心強い関係を築き、大きなハーダルを1つずつ越えていきましょう。



向上心

年 組 番 名前